

# 東京の産業と教育

## 会 の 目 的

本会は産業界、教育界および行政当局が一体となって相互に連絡協調し、本都における国公立の中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学および専修学校等の産業教育の改善・進歩をはかり、もって産業経済の自立発展に寄与することを目的とする。

## 地域や産業界等との確かな連携による 魅力ある専門高校の実現に向けて

東京都教育庁 都立学校教育部

都立高校改革企画調整担当課長 曾 根 稔



農業、工業、商業、家庭、福祉など、職業に関する教育を行う専門高校は、これまで地域の産業や社会を支える有為な職業人を育成するとともに、勤労観・職業観や豊かな感性、創造性を養う総合的な人間教育の場として、我が国の経済社会の発展に大きく貢献してきました。

一方、産業構造の変化やグローバル化、人工知能やロボットの進化など科学技術の進展に伴い、職業人に求められる技術・技能は高度化・多様化しており、専門高校は、こうした社会の変化と期待に応える人材の育成を推進することが期待されています。

東京都教育委員会では、これまで科学技術高校や産業高校の設置等、専門高校の特色化を図るための取組、生徒に専門的な技術・技能を確実に習得させるための「都立専門高校技能スタンダード」の策定等、様々な取組を進めてきました。

さらに、専門高校の生徒の能力の伸長と進路実現を図り、専門高校の魅力を高めていくための様々な改革メニューを盛り込んだ「都立高校改革推進計画 新実施計画」を本年 2 月に策定しました。

以下、各学科の改革メニューを紹介します。

農業科については、「アグリマイスター顕彰制度」を活用した農業教育を推進してまいります。これは、生徒が在学中に取得した農業に関する資格等を顕彰することで、生徒が目的を持って、意欲的に技術・技能の習得、学習へと取り組むことを促す目的で、実施するものです。

工業科については、ものづくりの面白さや魅力を学び、ものづくりへの興味・関心を高めていくような、学校設定科目を開発・導入するこ

とや、全ての工業高校において、より一層インターンシップを推進し、企業等と連携した実践的な教育活動を充実してまいります。

また、六郷工科高校に設置している「デュアルシステム科」を葛西工業高校、多摩工業高校に設置してまいります。（平成 30 年度）

商業科については、実社会のビジネスと直結した授業を充実するため、1 学年で東京や地域のビジネスを調査・研究する「東京のビジネス（仮称）」、2 学年で企業や地域と連携した市場調査や商品企画を行う「ビジネスアイデア（仮称）」の学習プログラムを開発してまいります。

（平成 29 年度に試行、30 年度に全校展開）

さらに、こうしたビジネスを実地に学ぶ商業教育を支援する組織（コンソーシアム）を設立してまいります。（平成 29 年度）

最後に、家庭科と福祉科については、調理師や保育人材を育成する家庭科、介護人材を育成する福祉科を併せもった「家庭・福祉高校（仮称）」を新たに 1 校設置してまいります。（平成 33 年度）

現在、これらの取組を着実に実行に移すべく、準備を進めておりますが、インターンシップの推進やデュアルシステム科、コンソーシアムの設置等を実行していくためには、専門高校はもとより、企業との連携・協力が不可欠です。

このため、産業界、教育界、行政が一体となり、産業教育を振興することを目的とする本会と、東京都教育委員会との連携は、今後益々重要となってまいります。会員の皆様方には、こうした趣旨をご理解いただき、これまで以上のご支援、ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。



〈実践報告〉

## 八王子織物工業組合『2016 Mulberry City ネクタイ学生デザインコンペ』に参加して

東京都立八王子桑志高等学校

デザイン分野主幹教諭 高橋 麻実

### 1 はじめに

本校は2007年に、都立八王子工業高校と都立第二商業高校が統合され、デザイン・クラフト・システム情報・ビジネス情報の4つの専門分野を持つ、日本初の産業高校として開校し、今年度10周年を迎えました。

その昔八王子は桑都（そうと）と呼ばれ養蚕や織物が盛んでした。しかし、明治に入り輸入された粗悪な化学染料をむやみに用い品質を低下させてしまい、八王子の織物は粗悪な織物とまで言われてしまいました。八王子織物全体の技術向上と品質改善を図るため仲買商らが八王子織物同業組合（現在の八王子織物工業組合）を結成し、翌年1887年に本校の母体校のひとつである八王子工業高校の前身となる八王子織物染色講習所が開設されました。

### 2 デザイン分野の取り組み

本校のデザイン分野では、幅広いデザインの領域をできるだけ多く経験できる授業を実践しております。本校は八王子の歴史を踏まえ、また八王子工業高校から引き継いだ施設設備もあることから、テキスタイルデザインにも力を入れてきました。2年次に、シルクスクリーンプリントによる手ぬぐいデザイン、浮き織り、型染め、3年次には、原毛を使いフェルティングによる帽子デザイン、オパール染めによるスカートデザインを制作しています。

### 3 ネクタイデザインコンペに参加して

八王子の町も、織物の町から住宅地や学園都市へと姿が変わりつつあるなか、八王子織物工業組合は、桑都を英語に訳したブランド「マルベリーシティネクタイ」を作り毎年新作を発表しています。若い感覚を採り入れようと4年前から学生のデザインを募集し、昨年コンペ形式で採用を決めていました。

今年度は、本校にもお声をかけていただき、多摩美術大学・武蔵野美術大学・東京造形大学・女子美術大学・文化学園大学・横浜美術大学に混じり唯一の高校として参加さ

せていただきました。今年度のテーマ『レトロ／Retrospective』のもと、本校から2年生8名3年生3名計11名20作品を応募させていただきました。多くの作品の中から15点が入選し、八王子の6社のメーカーにおいて製品化されます。その15点の入選作品の中に、本校の2年生、庵野舞咲さんの作品が入選しました。

ネクタイ柄をデザインするにあたり、いくつかの約束事を理解しなければなりません。授業で行っているため、足りない専門知識は補習で補い取り組むことができました。

昨年度の本校卒業生（現在東京造形大学テキスタイルデザイン2年生）の市長賞受賞に続く今年度の本校在校生受賞は、デザイン分野生徒にとって大きな励みになることと思います。

### 4 今後の取り組み

今回のコンペ参加は、生徒とともに私においても貴重な経験でした。是非、今後も参加させていただきたいと願っております。

八王子桑志高校のデザイン分野において、テキスタイルデザインを学べるということが大きな特色となるように、また八王子のテキスタイル全体の発展に貢献できるように、生徒とともに取り組んでいきたいと思ひます。



受賞ネクタイと

受賞生徒



## 鉄道機器株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-6 日土地日本橋ビルディング 7階  
 代表取締役会長 吉田 宏  
 TEL03-3271-5341 FAX03-3271-2174

## &lt;創業&gt;

大正3年5月、東京月島に「合名会社月島電機工作所」として創業。昭和18年「横山工業(株)」の鉄道用分岐器部門を併合し「鉄道機器(株)」となる。創業以来102年、国鉄民営化までは日本国有鉄道指定工場として、また民営化後はJR各社をはじめ全国の鉄道会社向け分岐器の専門メーカーとして今日に至る。

## &lt;従業員数、営業拠点&gt;

115名

大阪営業所：大阪市北区豊崎 3-20-9

富山工場：富山県高岡市福岡町

## &lt;事業内容&gt;

鉄道用分岐器類の設計及び製造。近時は低騒音化、低振動化など環境に配慮、或いはメンテナンスの軽減などに寄与する分岐器の製品開発に注力している。

主要販売先は、JR各社、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、東京地下鉄、各都市交通局、各電鉄会社、各製鉄会社ほか。

## &lt;経営理念&gt;

鉄道の運転保安上極めて重要な物品を作っているという誇りと自覚のもとに「お客様の満足を得る品質を提供する」ことをモットーとしている。

## &lt;主要営業品目&gt;

- 新幹線用・在来線用分岐器類
- 伸縮継目
- 接着絶縁レール
- 可動式横取り装置
- 中継レール
- その他軌道用品

## &lt;青年へのメッセージ&gt;

世界最高水準の速度と正確さを誇る日本の鉄道を「もの」で支えるのは我々メーカーです。品質にこだわる「ものづくりの技術集団」である鉄道機器では、社員の絶え間ない「学習」と「チームワーク」で生み出す「品質」こそが会社の生命線と考え、日々、一丸となって努力を続けています。



## 実教出版株式会社

〒102-8377 東京都千代田区五番町 5  
 代表取締役社長 戸塚 雄次  
 TEL : 03-3238-7777 FAX : 03-3238-7755

弊社は昭和16年(1941年)創立し、おかげさまで75周年を迎えました。

創立以来、高等学校、大学・短大、専門学校などの各学校段階における教科書・学習教材や理工図書・商経図書・情報図書などの教育関連図書を出版してきました。また、社会人向けにも、専門書・技術書・各種資格用学習書などを並行して出版しており、高等学校から社会人までの「生涯学習」の一端を担い、「教育・学習に貢献する」ことを理念として出版活動を展開してきました。

高校生から大学生、あるいは社会人(職業人)としてそれぞれ成長していく段階で求められる人間の「知性・知識」や「技術・経験」など、幅広い分野での新しい知見をわかりやすく提供することが弊社の使命であり目的でもあります。

高等学校の普通教科においては「基礎・基本から大学受験まで」の様々な教科書・教材を発行する一方、職業人を目指す専門教科の各分野(農業科・工業科・商業科・水産科・情報科・家庭科・福祉科・看護科)においては、専門知識・技術を記載した教科書・教材など幅広く発行しており、

知識教育と職業教育の両面に貢献するバランスのとれた出版活動を繰り返し続けて参りました。

今後も100周年に向けて、グローバルで変化の激しい社会におきましても、教育を通じて「ものづくり日本」を支え、より発展していけるように、未来を担う子どもたちをはじめ、皆様のお役に立てるように邁進して参ります。



## 「商業高校での学び」

東京都立赤羽商業高等学校

3年 岩本 龍喜

「赤羽生まれ、赤羽育ち、赤羽商業高校3年の岩本龍喜です。」

私は8月に東京富士大学で開催された高等学校生徒商業研究発表大会でこのような自己紹介からプレゼンテーションを行いました。

赤羽駅周辺は商店街が広がっており、また私の家も飲食店を営んでいることから、子どもの頃から「商売」は身近にありました。マーケティングを学んで家の手伝いをしたいと思ったのが、私が商業高校を選んだ理由の一つです。

赤羽商業高校は西が丘サッカー場、味の素ナショナルトレーニングセンターの向かいにあり、普段はテレビでしか見かけないようなオリンピック選手が、学校の近隣でトレーニングしている姿を目にしたこともあります。

本校では「チャレンジ赤商」というスローガンがあり、新しいことに積極的に取り組んでいくことが推奨されています。私は1年生の時に生徒会役員に立候補し、その後生徒会長も務めました。生徒会活動を通じてJOCスポーツ祭りや赤羽地区防災訓練などに参加し、様々な年齢層の方との交流を図り、多様な意見に触れることができました。中学生の頃から人を先導していくタイプでしたが、中立的な立場で人の意見が聞けるようになり、自然とリーダーシップをとれるようになったと感じています。

3年生になった現在、授業は専門分野を深めたり、興味関心に応じて選べたりする科目が増え、「課題研究」では「プレゼンテーション」を学んでいます。プレゼンテーションは自分の考えていることを相手に伝えることが求められますが、説得力を増すために文献調査をしたり、新聞から客観的な情報を得たりするなど

(NIE)、準備の大切さも学びました。また、2年生の時に「総合実践」で学んだブレインストーミングによるアイデアを出し合う活動からプレゼンテーションの内容を決めていく過程は、就職してからも役に立つ方法だと実感しました。

6月には高校生夕張キャンプ選抜大会にも出場しました。自分の話していることが相手に伝わっているか心配でしたが、この時は舞台上で発表する初めての機会に緊張していました。

冒頭に書いた8月の大会では、同じように緊張はしていたものの、2回目ということで心のゆとりもあり、自分を出していこうという気持ちが持てました。

夏休み中は、私は就職活動の準備、発表チームの他のメンバーは進学に向けての活動など、共有する時間がとれない中で、作業を分担して協力し合えたのが自信につながりました。

限られた時間の中で成果を挙げていくことは、社会に出てからも必要なことだと思います。この経験を活かして、学び続けていきたいです。



8月の高等学校生徒商業研究発表大会では優良賞を受賞（写真中央）

平成 27 年度 第 16 回全国中学生創造ものづくり教育フェア「ロボットコンテストの全国大会に出場して」

豊島区立千登世橋中学校

3年 高橋 直寛

僕は今、東京都豊島区立千登世橋中学校の「ロボット部」に所属しています。ロボット部と聞いてピンとくる人は少ないと思います。ですので、この部活動がどのような活動をしているのかを説明します。

ロボット部は、年に一度出される課題に沿って、その課題をできるだけ正確に、速くこなすことのできるロボットを目指して日々改良をしながら作っています。課題とは、例えば活用部門というものがあります。今年は、紙コップを組み合わせたアイテムを相手と積み上げて行って、最後に上に乗せられた方の得点になるというもので、1分半でどれだけ相手より多く立てられるかを競い合います。去年の競技を少し変えたものなのですが、何年かに一度完全に変わります。僕は、昨年、全国大会まで行きましたが、負けてしまいました。改良して、完成したのが大会の少し前で全然練習ができなかったのが原因だったと思うので、今回はしっかりと練習して、全国制覇できるように頑張ります。今までの先輩も全国大会で優勝したことはない

聞いたので、頑張っていきたいと思います。

ロボット部の好きなところは、自分の考えたロボットのシステムを自由に作れて、失敗してもまた違うものを作って行って自分だけのロボットを作れるというところです。自分で考えたロボットで相手に勝てた時は、とても嬉しい気持ちになります。

これからも一生懸命取り組んでいくので、応援よろしくをお願いします。

都大会の決勝戦（右側）→

全国大会で選手宣誓をしている様子  
↓



※平成 28 年度  
東京都大会で 1 位となり  
全国大会出場決定しました

平成 28 年度 第 14 回創造ものづくり教育フェア inTOKYO の「あなたのためのおべんとうコンクール」1 位、全国大会出場決定

千代田区立麴町中学校

1年 足立 皐・前田 花菜

私たちは、東京都中学校技術・家庭科研究会主催の平成 28 年度第 14 回創造ものづくり教育フェア inTOKYO の「あなたのためのおべんとうコンクール」の部の都大会に出場し、1 位をいただきました。

麴町中学校に今年度入学し家庭部に入部したことからこのコンクールがあることを知りました。この大会に出場できたのは、色々な人が支えてくださったからだと思います。家族、友達、そして先生方。特に伊藤先生には、普段の家庭分野の授業や部活動の時にたくさんのことを学ばせて頂きました。授業で学んだ栄養素や食材の旬のこと、魚の調理方法や環境に配慮した調理等は、お弁当を考える時にとっても役立ちました。「あなたのためのおべんとう」なので、相手のことを思っていることの大切さも学びました。先生は、分からないことは一から教えてください、間違えたところは正しくしっかり教えてくださいました。

二人でチームを組みコンクールに向けて練習する中でお互いの長所を伸ばせましたし、団結力も深まりました。調理の力も上がったと思います。

コンクールというものに出場するのは初めての体験でとてもワクワクしました。90 分という時間内に調理してお弁当箱につめ、片付けまでを行わなくてはなりません。片付けが終わっていないと失格になってしまうので、二人で練習を積みました。緊張せずに練習で身に付けたことを十分に発揮できました。全国大会も、二人で頑張りたいです。



東京都大会で 1 位となり全国大会出場決定

## 新 会 員 企 業 の 紹 介

### エンゼルフーズ株式会社

〒114-0003 東京都北区豊島8-1-1  
代表取締役社長 古賀 義将  
TEL: 03-3927-1123 FAX: 03-3927-1126

#### 永遠に未完成の給食づくり

弊社では、「未来を担う子どもたちの健康と健全な成長と幸せのために」を事業の目的として、お客様の信頼にお応えしてまいりました。おかげ様で幼稚園給食のリーディングカンパニーとして日本一の生産食数を誇り、東京、神奈川、埼玉、千葉の一都三県において、一日5万食の給食を提供しております。

「心身ともに健康で元気に育って欲しい！」我が子の安心・安全、成長を願う気持ちは、皆様同じことと思います。多くの幼稚園様、保護者様のご支援を頂きながら、皆様の思いに応えるべく、理想の給食を求めて今日まで幼稚園給食の事業を続けて参りました。

子どもたちが豊かな人間性を育み、「知力」「体力」「学力」などの生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要です。知育、徳育、体育の基礎となるべきものとして、「食」に関する知識を身に付けることが求められています。私たちは食育の重要性を考えるとともに、子どもたちの「おいしい！」の声と、皆様の思いに応えるべく、理想の給食を求めて今後も幼稚園給食の事業を続けて参ります。



#### 子ども用給食製造へ”ルトコン”アー「キッズベルコン」

毎日の給食を通じ、楽しいひと時をお子様方にお届けすることは、私どもにとって、大切な仕事ではありますが、私たちの仕事はそれだけではありません。未来を担うお子様の健康、健やかな成長、そして幸せになることのお手伝いをするのも私どもの大切な使命のひとつだと考えており、その理念に基づき、給食を提供すること以外にも、お子様の笑顔の為に何かできるサービスはないかと、常日頃よりスタッフ一同、考えております。

そのサービスの一環としまして、一つでも多くのお子様たちの笑顔を集めたいとの思いから、とても楽しい企画を考えました。それが、ちびっこ給食工場「キッズベルコン」(子ども用給食製造ベルトコンベアー)です。

お子様たちに楽しくお弁当作りを体験していただけますよう、お弁当工場で使用している機械をお子様用にコンパクトに、安全に開発したものです。キッズベルコンは、持ち運びが可能ですので、弊社スタッフが食材と一緒に幼稚園様へ運び、セッティング、そしてお友達の皆様へお弁当作りの指導をさせていただきます。



### 日本広告株式会社

〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨4-19-1  
代表取締役社長 浦野 孝  
TEL: 03-3918-3161 FAX: 03-3918-3163

当社は、昭和20年創業以来、70年以上にわたり屋外広告物の販売代理店として、営業してまいりました。日頃、人々の毎日の生活の場にある公道に建てられた電柱、毎日のご利用される駅構内、そういった場所の広告を販売し、掲出する仕事を永年続けております。

マスメディアを使った広告・宣伝・コマーシャルと違い、本当にその地域に暮らしている方々の近くで、その方々のお店と地域が発展し、活性化されることを願って、マスメディア広告と比較してはるかに安価な費用で、広告をご提供させていただいております。

特に、電柱広告は、

- ① 景観や街並みにも配慮したデザイン。
- ② 外国人の方々など、その地域を来訪される方々にもわかりやすく便利な、住所表示や道路名表示。
- ③ 常に美しい状態に保つために、定期的に新しい看板に無料で作り直すサービス。

などにも取り組んでおります。

これからも、誠実に、お客様の信頼に応える企業として、より一層努力していくことをお約束いたします。

#### 【主な営業品目】

- ・東電柱、NTT柱の電柱広告
- ・JR・私鉄・地下鉄などの駅広告
- ・豊島区、北区などの案内掲示板・街区案内図などへの広告
- ・消火栓広告など

#### 【沿革】

- 昭和20年12月 初代社長和田鉄之助が宝商事合名会社を設立し、電燈広告株式会社(現東電タウンプランニング株式会社)の電柱広告の取り扱いを開始。
- 昭和24年4月 日本国有鉄道(現JR)の鉄道広告の取り扱いを開始。
- 昭和26年7月 日本広告株式会社を設立。
- 昭和51年12月 和田守雄が2代目社長に就任。
- 平成9年4月 浦野陽が3代目社長に就任。
- 平成20年4月 浦野孝が4代目社長に就任。
- 平成27年12月 創業70周年を迎える。

【HPアドレス】 <http://nihon-ad.c.ooco.jp>



## 新 会 員 企 業 の 紹 介

### 株 式 会 社 ス マ イ ル

〒 176-0011 東京都練馬区豊玉上 1-19-1-203 号  
代表取締役 木川 秀也  
TEL/FAX : 03-6914-5370

私が働き始めて、今年で20年が経ちました。職歴は飲食業5年、消防設備業8年、マンション管理業4年、建物設備業3年と少し多くの業界で働いてきたことが私の財産になっています。

今まで出会った職場やお客様から、「社会で生きていく方法」を教わった20年だったと思っています。そして、当初の夢だった飲食業での独立開業と言う夢とは違いますが、今年8月1日から建物管理業の会社<株式会社スマイル>を開業することができました。

弊社の大切にしていることは、

1. 笑顔で挨拶をする
2. 仕事に正直に向き合う
3. 「ありがとう」と言って頂ける仕事をする



蛇口をひねれば清潔な水が出るというような「普通」を提供している仕事です。

建物の維持管理に関する事でしたら、どんな事でも相談を承ります。これからも、人と人との繋がりを大切に、一人でも多くの方に喜ばれる会社に成長できるように日々勉強させて頂きます。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

#### 【業務内容】

消防設備点検・防火対象物点検・建築設備検査・特定建築物調査・建物巡回点検・リニューアル工事・緊急対応・各種清掃

#### 【保有資格】

消防設備士（甲種1類4類 乙種5・6類）・防火対象物点検員・建築設備検査員・第2種電気工事士



### 株 式 会 社 興 銀 不 動 産 開 発

〒 125-0041 東京都葛飾区東金町 5-7-6  
代表取締役 矢部 文雄  
TEL : 03-5699-5353 FAX : 03-5699-0224

弊社は生まれも育ちも葛飾金町の社長のもと、平成2年、自然豊かで、都内随一の広さを誇る水元公園近くにオープンしました。

「土地・建物」を売りたい！買いたい！希望の賃貸に引っ越したい！

お客様のご要望に出来る限り沿えるよう、日々努力しております。

地元の細かな情報に精通し地域に密着した活動を地道に続け、お客様との対話を大切に、地域産業の振興育成のお手伝い、企業間連携の促進に取り組んでいます。

不動産店としては、駅から遠いという立地ではありませんが、豊富な物件をネットを通じてスライドショーや動画にて紹介し、さらに臨場感あふれるものをご覧いただけるように、設備（VR）を整え、技術革新を進めております。

閑静な住宅街、並びにはテニス・ゴルフスクール、裏は水元公園があります。

是非、お近くにいらしたときはお寄りください！

社員一同、心より歓迎いたします。

※ VR：バーチャルリアリティ(Virtual Reality)



< 当 社 >

## 新 会 員 校 の 紹 介

### 学校法人 古屋学園 二葉ファッションアカデミー

〒 180-0003 武蔵野市吉祥寺南町 1-3-2  
 校長 吉野たけし  
 TEL : 0422-44-3161 FAX : 0422-45-1962

本校は、1937 年に開校し、森英恵先生をはじめとする多くのファッションスペシャリストを輩出してまいりました。「涵養の精神と職業人としての自立」という建学の精神のもと、時代の中で産業界が求めるフレキシブルな教育環境を常に整備しています。平成 24 年度より経済社会のグローバル化や、知識・技術の高度化、雇用の流動化に対応した人材を育成するため、「ファッション総合学科」を新設し、職業実践専門課程として認定を受けました。又、姉妹校として二葉栄養専門学校、二葉製菓学校を設置し、衣食の分野において法人全体で地域に根ざした職業教育を展開しています。

#### ■設置学科

##### 職業実践専門課程

- ・ファッション総合学科（昼間部 2 年制）

##### 専門課程

- ・ファッション専攻科（昼間部 1 年制）

##### 高等課程

- ・ファッションデザイン科（昼間部 3 年制）

##### 一般課程

- ・ファッション本科（夜間部 1 年制）
- ・ファッション技術科（夜間部 1 年制）

#### ■特色ある教育

##### ①八王子ファッション協議会との連携

繊維関連企業約 70 社からなる協議会と連携、オリジナル素材の開発、デザイン提案、展示会の開催と多岐にわたり連携をしています。

##### ②オリジナルブランド&ショップ運営

学生オリジナルブランドを立ち上げ、吉祥寺駅前校舎 1 階ショップで販売を行っています。

##### ③東京コレクションへの参加

オリジナルブランド「ハハ」を展開。東京コレクションに参加し、3 シーズン目となります。



Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO  
haha 2016-17A/W Collection

新産業界会員・会員校・個人会員紹介：城北礦油株式会社・東村山市立東村山第四中学校・NHK 学園高等学校・香川調理製菓専門学校・石曾根 栄之様・佐藤 航一様（敬称略）

### 平成 28 年度「作文コンクール」について

本年度の本会主催「作文コンクール」は応募を 9 月 9 日に締め切り、選考委員による一次選考、二次選考を経て、下記の通り入選者数が決定いたしました。また、入選作品集の表紙イラストに採用された生徒にもイラスト賞を贈呈します。本年度は、昨年度に比べ特に中学校からの作品の応募が多くみられました。 ※（ ）は昨年度の数です

|        | 応募校数    | 応募作品数     | 入選数     | 最優秀賞  | 優秀賞   | 佳作      |
|--------|---------|-----------|---------|-------|-------|---------|
| 中学校の部  | 32 (18) | 119 (82)  | 18 (13) | 1 (1) | 2 (2) | 15 (10) |
| 高等学校の部 | 23 (15) | 109 (93)  | 17 (14) | 1 (1) | 3 (3) | 13 (10) |
| 専修学校の部 | 4 (5)   | 19 (21)   | 3 (3)   | 0 (0) | 1 (1) | 2 (2)   |
| 総数     | 59 (38) | 247 (196) | 38 (30) | 2 (2) | 6 (6) | 30 (22) |

### 平成 28 年度 産学懇談会（第 1 回）について

今年度は、10 月 6 日（木）東京 YMCA 医療福祉専門学校で開催し、校内の施設見学後に懇談会を行いました。本会役員、会員等 27 名が参加し、これからの新しい医療福祉教育について活発な意見交換が行われ大変有意義な会となりました。

### 平成 28 年度 東京都産業教育振興会 教育功労者賞表彰式

11 月 15 日（火）15 時より全商会館 3 階 中会議室にて教育功労者表彰式を行いました。本年度は高等学校 24 名、中学校 9 名、専修学校 1 名の合計 34 名の方々表彰されました。

お詫び申し上げます：会報 150 号 P.8 右 本年度の役員紹介 金子 正男（誤）⇒金子 昌男（正）

#### 事務局より

- 平成 28 年度会報「東京の産業と教育」第 151 号をお届けいたします。発行に際しまして皆様に御協力をいただきましたことを深く感謝申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。
- 東京の産業教育をさらに飛躍させるために、情報等を提供しております。
- 会員の皆様からの御感想や御意見等がありましたら当会までお寄せください。
- 会員の募集も随時行っております。

発行 東京都産業教育振興会

〒 163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1  
 東京都教育庁都立学校教育部

高等学校教育課内

電話 03-5320-6729

FAX 03-5388-1727

印刷 昭和印刷株式会社